

自分だけの留学プログラムで 岩手から世界へ！

いわてグローカル人材育成推進協議会海外留学支援事業

いわて協創グローカル人材育成プログラム 令和8年度 派遣学生募集！

詳細は
こちら！

岩手と海外をつなぐさまざまな経験を通じ、グローバルな視野で地域の活性化に貢献したい…
そんな意欲ある学生のチャレンジを地域産学官一体で応援します！



4つの特徴

01 奨学金は
返済不要

02 成績・学力
不問

03 自分で留学プラン
を設計できる！

04 短期留学OK！
(14日以上3か月以内)

計画要件と奨学金等

当プログラムは、実践活動を主とした海外留学と県内企業等でのインターンシップを含みます。

募集人数

5名程度

■ 留学先での実践活動 【受入先あり】

※留学先機関の受入許可証が必要です。

実践活動とは、インターンシップ、ボランティア、課題解決型学習、自主活動が該当します。

■ 奨学金等 上限 50万円

- ・日額 4,000円又は5,000円
- ・留学準備金 100,000円又は200,000円
- ・その他(授業料など) 上限300,000円

先輩の留学事例



岩手県立大学 ソフトウェア情報学部
佐藤 明日香 さん

海の磯焼け問題を研究・
藻場再生を普及するため
オーストラリアへ！



一関工業高等専門学校 システム創造工学専攻
餘目 早希 さん

STEAM教育と省エネルギー化技術
を学びにフランスへ！

岩手県商工会議所連合会、岩手県商工会連合会、岩手県中小企業団体中央会、岩手経済同友会、岩手県中小企業家同友会、岩手県森林組合連合会、岩手県観光協会、いわて産業振興センター、岩手県建設業協会、(株)岩手銀行、(株)東北銀行、いわぎん事業創造キャピタル(株)、(株)アイビーシー岩手放送、(株)岩手日報社、(株)岩手めんこいテレビ、(株)テレピ岩手、(株)柳家、白金運輸(株)、(株)岩手県産、アイシン東北(株)、(株)小林精機、(株)ジャパンセミコンダクター、(株)千田精密工業、(株)デンソーラー岩手、(株)東亜電化、(株)トーノ精密、(株)長島製作所、(株)日ピス岩手一関工場、(株)ベスト、(株)ミクニ、東京エレクトロンテクノロジーソリューションズ(株)、谷村電気精機(株)、リコーアイダストリアルソリューションズ(株)花巻事業所、和同産業(株)、(株)アイシーエス、(株)ゴーイングドットコム、(株)ナレロー、富士フィルムビジネスイノベーションジャパン株式会社、富士通(株)岩手支店、(株)たまごファクトリー(サラファーム)、(株)十文字チキンカンパニー、(株)南部美人、(株)西部開発農産、けせんプレカット事業協同組合、みちのくコカコーラボトリング(株)、及源鑄造(株)、さいとう製菓(株)、IGRいわて銀河鉄道(株)、(株)岩手県空港ターミナルビル、(株)岩手県北自動車、(株)岩手ホテルアンドリゾート、(株)いわてラボ、三陸鉄道(株)、八幡平リゾート(株)、花巻温泉(株)、(株)JTB盛岡支店、盛岡ターミナルビル(株)、(株)タカヤ、(株)中央コーポレーション、(株)吉田測量設計、川嶋印刷(株)、東北電力(株)岩手支店、(株)ユアテック岩手支社、東京海上日動火災保険(株)盛岡支店、(株)盛岡地域交流センター、岩手県医師会、いわて高等教育コンソーシアム、ふるさといわて定住財団、JICA東北、盛岡市、大船渡市、花巻市、北上市、一関市、奥州市、零石町、紫波町、矢巾町、西和賀町、軽米町、岩手大学、岩手県国際交流協会、岩手県（2026年1月31日現在）

問合せ

いわてグローカル人材育成推進協議会事務局（岩手県国際交流協会内）
TEL 019-654-8900 ☎ glocal-iwate@iwate-ia.or.jp

インターンシップ先や留学計画の相談などがあれば、
当協議会までお気軽にご相談ください。

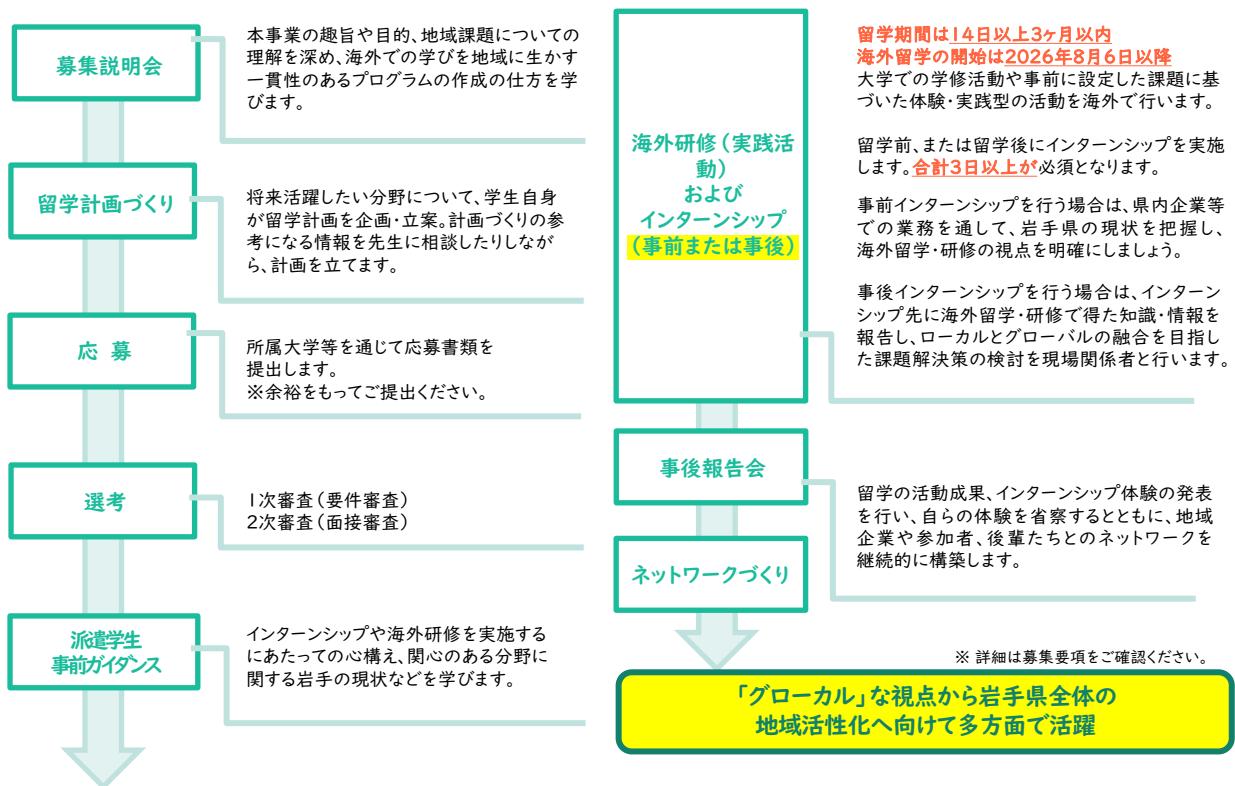
いわて協創グローカル人材育成プログラムは、実践活動を主とした海外留学と岩手県内企業等でのインターンシップを組み合わせたプログラムです。

このプログラムでは、国際的な視野(グローバル)と地域に貢献する視野(ローカル)を持ったグローカル人材を支援します。

| 募集人数 | 5名程度 |
|---------------------|--|
| ■ 留学先での実践活動 【受入先あり】 | ※留学先機関の受入許可証が必要です。 実践活動とは、インターンシップ、ボランティア、課題解決型学習、自主活動が該当します。 |

- ・日本国籍を有する学生又は日本への永住が許可されている学生
 - ・事前オリエンテーション、事前・事後研修、事後報告会、留学生ネットワークに参加できる学生
 - ・いわて高等教育コンソーシアムに加盟する高等教育機関において、学位取得を目的とした課程に在籍する学生
 - ・日本の在籍大学等が派遣を許可し、留学計画書に記載された留学先機関が受け入れを許可する学生
 - ・留学に必要な査証を確実に取得できる学生
 - ・留学終了後、日本の在籍大学等で学業を継続または学位を取得する学生
 - ・2026年4月1日現在の年齢が30歳以下の学生 等

プログラムの流れ



主なスケジュール